

平成24年度第2回 理事会議事録

一般社団法人

静岡県建設コンサルタント協会

1. 開催日時 平成24年5月22日(火) 13時30分開会 15時10分閉会

2. 開催場所 一般社団法人静岡県建設コンサルタント協会 会議室

3. 理事会開会

(1) 出席した役員等の氏名

会 長 齋 秀

副会長 森崎祐治 服部剛明 藤山義修

理 事 杉山 博 遠藤喜徳 松井藤雄 近藤拓己 吉田英司

監 事 鶴田忠男

【欠席 監事 蓮池康彦】

事務局長 村松光康

理事9名全員出席により理事会は成立。

(2) 齋会長挨拶

(3) 定款第35条の規定により齋会長が議長に就任。

4. 議 事

(1) 平成24年度委員会・部会事業について

総務委員会は、6月25日(月)にペガサートで技術士試験対策セミナーを開催することとしている。

他の部会については、できるだけ早めに事業を実施することとし、遅くとも年内には終了することとした。

(2) 国土交通省佐藤技監への全コン連会員活用について要望について

平成24年5月9日(水)技監室において、14:00~14:40の間、佐藤技監に要望し、その概要が次のとおり報告された。

同席者 大臣官房技術参事官(総合政策局担当) 橋場克司

大臣官房技術調査課建設技術調整官 多田 智

土地・建設産業局建設業課建設技術企画官 前佛和秀

概要

ア. 齋会長が要望書を佐藤技監に手交し要望

イ. 佐藤技監回答要旨

- ・災害時等においては、最初に地元の建設業協会と建コン協会に対応していただくこととなり、これら業界の必要性は十分に認識している。地元のコンサルがなくなっては困る。
- ・大手と地元をどのようにすみわけするか、相互に協力しあえるかなどを、十分考えていく必要がある。
- ・国土交通省としては協会の要望を受け、出先機関に対し、地元には十分に配慮した対応を取るよう、機会ある毎に指導しているが、今後も引き続き努めていく。
- ・出先機関の反応が鈍い様であるので、技術調査課でさらに対応を考えさせる。
- ・災害協定の、必要性は十分わかるので、出先機関への指導をさらに進める。
- ・全コン連としても、各県の協会をさらに増やして、真の連合会とされたらどうか。

ウ. 当日の建通新聞掲載記事もあわせて紹介された。

(3) 平成24年6月22日(金)の全コン連行事等について

6月22日(金)の全コン連行事のうち、国土交通省から「建設関連業イメージアップへの取組み」についての説明が組み込まれたため当初の14時30分開始予定が14時からとなった。全理事が都合のつく限り出席することを再確認した。

(4) 平成24年度理事会開催予定日について

6月以降の理事会開催予定は、7月27日(金)、9月21日(金)、11月16日(金)、12月21日(金)、2月15日(金)及び3月15日(金)とし、それぞれ原則として10時15分から開催することを確認した。

(5) 平成24年度静岡県土木技術職員研修への講師派遣について

技術研究部会で検討された次の会社を派遣することを承認した。

下田会場……(株)ウエマツコンサルティング、(株)東日

沼津会場……静岡コンサルタント(株)から2名

島田会場……昭和設計(株)、服部エンジニア(株)

袋井会場……不二総合コンサルタント(株)、(株)フジヤマ

(6) 県出先機関への受注量拡大運動について

6月中を目標に、各地区で顧問等と連絡をとり実施することとした。

(7) 第8回技術研究発表会について

国の講演は、前回に引続き、静岡国道事務所 飯田明弘氏 に決定した。
これに伴い、講演者5名、発表者6名が確定したため、役員それぞれが、行政機関等に参加の働きかけをすることとした。

(8) 平成24年度の会員名簿等について

事務局より、会長の挨拶文の中に、平成22年8月11日の中日本高速道路株と、平成24年3月29日の静岡県とのそれぞれの災害協定の文言を挿入し、事業紹介の中に「災害等における行政機関等への積極的な協力」の項目を追加したとの事後報告があり、承認された。

(9) その他

協会の「定款」「委員会規程」「会費及び入会金等に関する規程」「慶弔等内規」について、事務局より説明がなされた。

以上をもって第2回理事会を15時10分に閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、定款第37条に基づき、議長及び出席した監事が記名押印する。

平成24年5月22日

議長・代表理事 齋 秀 ⑩

監事 鶴田忠男 ⑩